
浮遊大陸アディア

耀平

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

浮遊大陸アディア

【Nコード】

N0749Z

【作者名】

耀平

【あらすじ】

異世界で起こる剣と魔法のファンタジーのつもりで書いております。

初投稿なので読みにくいとは思いますがご容赦ください。 随時続編や改訂等していくつおりです。

第0章 - 始まり -

第0章

- 始まり -

「……お、き……て……ください」
誰かが話しかけているような気がする。

誰だろうか？自分は部屋で寝ていたはずで、来るとすれば母親ぐら
いなものだが……。

残念ながら母親はこんなにかわいらしい声の持ち主ではない。

「死んじゃってるのかな……？」

と、不安そうな少女の声がする。どうやら声から判断するに、最初
の呼びかけもこの子のようだ。

「それはないだろう、息はしているし心臓も動いてる」

こちらは、先ほどよりスコシ大人びた声で冷静な分析をしている。

「……つ。ツてえ……」

！！

「目が覚めたかつ！」

「よかつたあ。」

背中痛みとともに覚醒していく意識の中、見慣れない衣装に身を
包んだ人が二人、石室に立っているのがぼんやりと見える。

(ここはどこだ？俺は自室で寝ていたはずで……つ。背中を寝てる
間にどこかにぶつけたのか。打撲のような痛みがある。)

「ここはどこなんだ？俺は自分の部屋で寝ていたはずなんだが。そ

れにさつきから背中が痛いんだが、何かしたのか？それと、その格好はなんなんだコスプレか？」
と俺は矢継ぎ早に質問していく。

「えと・・・それは・・・そのう・・・。」

答えずらそうに、モジモジとしている。最初の声の子だろうか、見たこともないような服を着て本のようなものを持っている。歳は・・・そう十六歳ぐらいだろうか、すこしこがらな少女だ。

「まあ、まで・・・おついで状況を整理しよう。こちらもわかってないことがあるんだ。」

先ほどの落ち着いた声の人（たぶん少年）がそう言った。こちらも見ただこともないような服に剣？のようなものを着けている。こちらは先ほどの子とちがって割と冷静なようだ、指示に従って状況を整理したほうがよさそうだろう。

「わかった。じゃあまず、俺は誘拐されたのか？身代金なんて払える家じゃないんだが。」

余談だが、俺の家は一般家系で父親は普通のサラリーマン。母親はパートタイムで仕事している。祖母と祖父と住んでいる以外はごく一般的な家庭だ。

当然蓄えもそれなりにはあるのだろうが、身代金目当ての誘拐をされるような量はなかったように思う。と、余計なことを考えてると少年（仮）が。

「違う。その服装はなんなんだ？」

と、少々不機嫌そうな声で言ってきた。

「服装？ああ、これか・・・。これは俺が通っている高校の制服だ、帰ってきてめんどくさかったからそのままねてしまったんだ。別に

変な服ではないだろうか？」

「コウコウ？よくわからんが制服があるということは軍隊みたいなものか？そんなに体を鍛えてるようには見えないが。」

「ちよつ、ちよつとまで・・・高校ぐらい知っているだろう？みたところ同じような歳だと思うし、通ってないにしても存在ぐらいは知ってるはずだ！」

俺はあせっていた。これまでの十七年間の人生で一番あせっていたといっても過言ではない。最初からいやな感じはしていたのだ、見たこともない服装に見慣れない本や剣の類。それに誘拐されたにしたら手足を縛られてないし、逃げ出そうと思えばすぐ逃げ出せる環境。（こ、これはもしかしてあれではないのか？）それは、できれば考えたくない可能性でしかし現状が一番当てはまりそうなものだった。そして、答えによっては自分のコレからを左右する質問をした。

「こ、ここは、どこなんだ？」

そのしつもんにも、少女たちは不思議そうな顔をしながらもいった・・・。

「アディアですっ」

と・・・。

その声を聞いたとたん俺はショックにより薄れていく意識の中で、思った。

ああ・・・異世界に来てしまったんだな・・・と

第0章 - 始まり - (後書き)

注意+

- ・特に記載なき場合、掲載されている小説はすべてフィクションであり実在の人物・団体等とは一切関係ありません。
 - ・特に記載なき場合、掲載されている小説の著作権は作者にあります。
 - ・作者以外の方による小説の引用を超える無断転載は禁止しており、行った場合、著作権法の違反となります。
- この小説はリンクフリーです。ご自由にリンク(紹介)してください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0749z/>

浮遊大陸アディア

2011年12月2日21時45分発行